

研究課題番号	5G-2101
研究課題名	水環境中の要調査項目調査へのターゲットスクリーニング分析の実装
研究実施期間	2021 年度～2023 年度
研究機関名	東京大学
研究代表者名	栗栖太

1. 委員の指摘及び提言概要

要調査項目の有機物の過半を調査できるスクリーニングとして有用性の高い方法が提案され、スクリーニング分析技術の整備という目標は十分に達成されたと評価できる。また、スクリーニングレベルであるが、プライオリティリストの作成は調査の優先度を明らかにする方法として活用が期待される。さらに分析マニュアル、誤同定チェックマニュアルの作成に取り組んだことは、環境行政に対して十分な成果であり、社会実装に役立つと思われるが、一般的なマニュアルにするためには、さらに多くの機関からの意見を踏まえることが望ましく、妥当性評価、複数の機関によるバリデーション試験を行って、社会実装を進めてほしい。機器メーカーを超えたユニバーサルなプログラムとして活用できるよう期待する。

2. 採点結果

評価ランク：A